

早いもので 一期目の任期も残り1年となりました

— 安心・安全な生活を共に築いてまいります —

初夏の候 皆様方にはお元気にお過ごしのことと存じます。

早いもので一期目の任期も4年目に入り、残り1年となりました。私は、常々モットーにしている「現地現物」・「安全は全てに優先」を忘れることなく、日々活動しています。

4月末、西三河で地震があり、他県では土砂災害特別警戒区域で大規模な山崩れが発生しました。一般質問や議案質疑で取り上げた、「県市町連携による防災減災」の大切さを改めて痛感いたしました。今後も、自然災害対策はじめ、生活道路や通学路などの交通安全対策、三河地域の森林資源の活用に取り組んでまいります。

引き続き初心を忘れず、皆様のご期待にお応えしてまいりたいと思います。ご指導・ご意見を賜りますようお願いいたします。



県議会議員 新海正春

2月県議会での議案質疑

2月の議会報告

本年度の予算編成（報告）・私の議案質疑

1、本年度の予算編成（報告）

平成30年度の県税収入は、昨年度に大幅な減税となった法人二税の増加が見込まれるものの、外形標準課税の拡大などにより、企業収益の回復が税収増につながりにくくなっており、減収前の水準まで回復するに至っていません。

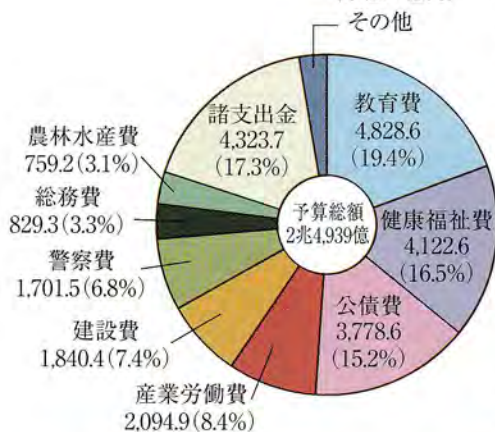
一方、歳出では、医療・介護などの扶助費をはじめとした義務的経費が増加しており、平成30年度当初の編成予算の編成にあたっては、依然として多額の収支不足が見込まれました。

こうした状況に対応するために、昨年度における

財源確保等により、減債基金の取り崩しを全額取り止めるとともに、財政調整基金の取り崩しを可能な限り取り止め、平成30年度に再度活用するという2か年にわたる財源調整を行いました。

目的別歳出の状況（一般会計）

（単位：億円）



2、私の議案質疑

質問

ICTを活用して、「スマート林業」をどのように推進していくのか？平成30年度にはどのように取り組んでいくのか？

回答

生産者が製材工場の需要を的確に把握するとともに、森林資源の正確な情報に基づく、精度の高い木材生産計画を作成する必要がある。

このため、航空機により上空から森林に向けてレーザを照射する「航空レーザ計測」を実施し、スギ・ヒノキ1本1本の立っている場所や、それぞれの高さ・太さといった詳細な森林情報を把握する。また、生産者と製材工場が、インターネット等により、リアルタイムで丸太の生産情報と需要情報を提供し、円滑なマッチングを可能とするシステムを作る。

こうしたICTの活用により、県産木材を製材工場等の需要に応じて計画的・安定的に供給することを可能とする「スマート林業」を推進していく。

平成30年度の取り組みとしては、地域の市町村との調整が整った森林において、航空レーザ計測を実施する。そして、「スマート林業」の具体的な仕組みづくりに向けた基本構想を作成していく。

実現しました

今後ご要望・ご意見をお聴かせください

① 岡崎西尾線（岡崎市大和町）の矢作南小前の横断歩道の修繕 ※児童転倒防止対策



② 岡崎刈谷線（岡崎市昭和町）の地下横断歩道の修繕 ※事故原因不明で長らく放置されていた。



③ 国道 248 号（岡崎市城北町）城北中前の横断歩道橋の修繕 ※一般質問でも取り上げた。



④ 視覚障がい者用ブロックの改修（岡崎市柱 3 丁目）



⑤ 横断歩道の設置（羽根西新町）



⑥ 岡崎幸田線（幸田町大草）の舗装道修繕



⑦ 幸田幡豆線（幸田町桐山）の舗装道修繕



⑧ 鉢地川の堆積土砂の撤去（その1 岡崎市保母町）※「源氏ボタル」の生息地のため2年がかりで文化庁の許可を得た。



（その2 岡崎市池金町）



⑨ 相見川の法面・護岸補修（その1 幸田町坂崎）



（その2 幸田町高力）



⑩ 石川の護岸工事（幸田町大草）



11 安藤川の護岸補修（その1 岡崎市坂左右町）



（その2 岡崎市中島町）



12 尾浜川（幸田町菱池）の法面補修



現在、取り組んでいます

- ① 福岡線の早期開通
- ② 砂川拡幅工事に合わせた4橋架け替え推進
- ③ 安藤川・相見川の護岸修繕の継続
- ④ 通学路の安全対策（信号・道路標示・歩道）

視察しました

核融合科学研究所（岐阜県土岐市）

核融合科学研究所は、安全で環境に優しい次世代エネルギーの実現をめざし、大学共同利用機関として国内や海外の大学・研究機関と共に活発な研究協力を進めています。また、教育機関として次世代の優れた人材を育成しています。



大病を患って思うこと

六ッ美中部学区 鈴木正義 様

私は、自分の健康には自信が有ると思っていました。年に一回風邪をひく程度と、動けなくなるほどの腰痛を患うくらいで、それでも健康には気を付けている方だと思います。

現役の頃は、会社の定期健診、退職後も毎年「人間ドック」検診を受け、病気早期発見に努めてきました。にもかかわらず、退職間際に「未破裂動脈瘤手術」、退職直後に「頸椎ヘルニア手術」、そして止めは最近の「胃癌の手術」。自慢にもなりません、大病のオンパレード。難儀をしました。しかし、何れの大病も早期発見で、今のところ命は保たれています。

人は「人間ドックを受診すると、"変なもの"が見つかる」と言いますが、罹患してひどくなってから慌てても遅いです。

若い内は無理も効きます。貴方だけの体ではありません。家族のためにも、病気早期発見に努めてください。